

第2回 第9期瑞浪市高齢者福祉計画等推進委員会 会議録

■会議の日時:令和5年10月11日 13時30分から14時45分

■場所:瑞浪市役所西分庁舎 1階会議室

■出席者:瑞浪市高齢者福祉計画等推進委員会委員

江口 研、藤本 省三、伊藤 重雄、比留間 孝、加藤 誠二、近藤 宏江、守屋 玲子、
大島 志保、小栗 雅子、木村 聖可 [名簿順 敬称略]

欠席者:矢野 元子、土本 かおり、安藤 章文 [名簿順 敬称略]

事務局:正木 英二(民生部長)、梅村 やよい(高齢福祉課長)、
横井 宏之(高齢福祉課課長補佐兼介護保険係長)、長谷川 幸(高齢者政策係長)、
加藤 承子(高齢者支援係長)、佐野 華子(Next-i 株式会社)

■議事:

1.事務局あいさつ

2.副委員長あいさつ

いよいよ第9期の高齢者福祉計画案が出てまいりましたので、本日は慎重なご意見をお願いしたいと思います。

3.議事

1 第9期瑞浪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画骨子案について

(1)第1章 計画の概要

事務局:骨子案1～6ページを説明

副委員長:ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問などございませんか。

－意見なし－

(2)第2章 高齢者を取り巻く状況

事務局:骨子案7～46ページを説明

副委員長:ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問などございませんか。

委員:この中で見てみますと、要介護1、2の方がずいぶん増えていて、要介護3、4、重い方が少なくなっている。要支援1、2も比較的少ないようですが、要介護1、2がだんだん増えてきているのは、何か原因があるのでしょうか。

事務局:あくまでも推測になってしまうのですが、新規の認定者の方は、要介護1、2の方が一番多い割合となっています。また、更新の方については、適切な介護サービスを利用していただいたことで、重度化せず要介護度が維持されたと考えられます。こういったことから、要介護1、2が増えていると思われます。

委員:要介護3以上の方はいかがですか。

事務局:こちら推測になってしまうのですが、要介護3以上の方というのは、やはり看取りの方が多いというところも考えられます。それらの方が減少して、要介護2以下の方が

そのまま要介護度が上がらずに、現状維持できている方も増えているため、要介護3以上の方が減少していると考えております。

副委員長:ありがとうございました。その他には、いかがでしょうか。

委員:表の数字や表示の確認ですけれども、10ページの一番下の高齢者世帯の表ですが、この資料の出典が各年4月1日現在とありますけれども、年度の表示はないと思いますので、これは何年の数字だということも提示していただいた方がいいと思います。それから2つ目が20ページ、21ページ、23ページの表ですが、数値について不明な点がありますので、確認をお願いしたいです。

事務局:ありがとうございます。こちらの方は転記の誤りだと思いますので、また次回の委員会の時に修正して報告させていただきます。ありがとうございます。

(3)第3章 計画の基本理念

事務局:骨子案47ページ以降を説明

委員長:ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問などございませんか。

委員:協議会の設置や、福祉委員、民生委員等のいろいろな人との関わり合いやつながり合いです。希薄になっていると感じます。結局、地域の助け合い、支え合いの推進といっても、この部分が実際にどのようにできるのか、ちょっと不安です。これが一番、地域福祉の体制強化で大事なことだと思うのです。今は、なかなか他人の家族とか他の人に対しての、いろんな声かけをするというのが、実際難しい時代になっています。体制強化というのは、何やりにしても大事なことではないかなと思っています。

事務局:ありがとうございます。いただいたご意見をもとに、実施事業について改めて考えて、次の会議の際にご提示させていただきたいと思います。

委員:認知症施策ということで、通常国会で認知症基本法というのが成立しましたよね。何かその法律の中で、ここに新たに加えるような項目なり、反映させるようなものはあるのですか。

事務局:新しい法律につきましては、現在の大綱をもとに作ってあるということで、同じ方向を向いているということでしたので、基本は8期と同様となるかと思っています。1つ変わることで、認知症施策推進基本計画の策定についての記載がありましたので、これについては、今後もリサーチを続けていきたいと思っています。

(4)市内施設入所待機者状況について

事務局:資料1により説明

委員長:ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問などございませんか。

委員:介護老人保健施設の入所者平均年齢は87歳とありますが、これは男女別でどのくらいの違いがあるんですか。それは分かりませんか。

事務局:分かりません。

委員:グループホームに空きがあるというような話もありましたが、探しているが空きがないというような話を10月の初めに聞きました。その辺りはどういう状況なのか、お聞かせ願えればと思っています。

事務局:具体的にお1人お1人から話を聞いたわけではないので、推測になりますが、こちら

の入所希望者・希望調査を今年度初めにしたときに、入所希望者有りと回答した事業所は、全事業所ではありませんでした。空床があると回答したのも、特定の事業所でした。それぞれの事業所で、何かしらその条件があるのかもしれませんが。その方のご希望の事業所に空きが無く入れないということも考えられるかもしれません。今のところグループホームは6事業所ありますが、全てのところに申し込んでいるという方はこの希望者調査の中には見当たらず、特定のところに数箇所申し込んでいるという状況でした。ということも考えられるかなと思いますし、この時は4月1日だったので、10月初めの時点でどのような状況だったのかは把握しておりません。

委員：今のお話からしますと、全部に申し込めば違うかもしれないということですね。ただ、入所者がどこを希望するかどうかというのは、遠いとか近いとかいろいろありますので、分からないということですね。

事務局：はい。

2 第8期瑞浪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画及び第8期岐阜県高齢者安心計画の変更について

事務局：資料2により説明

委員長：ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問などございませんか。

－意見なし－

委員長：では、本日の議案も全てこれで終了ということで、よろしいですかね。本日は、計画の概要をご審議いただきまして、ありがとうございました。

内容として、具体的な数値が書かかれていますが、計画を実践するためにはそれなりに努力が必要だと思います。今後一番心配なのは、介護施設で働ける人材をどう確保していくか。これは全国的にニュースでも取り上げられていますが、昨年から今年にかけて訪問介護サービス系事業所がかなりハイペースで倒産、撤退しているようです。今まで事業を行っていたところがなくなって、訪問介護サービスが受けられなくなっていくという実態がしばしば取り上げられております。総人口や高齢者の人口も減っていくと思われませんが、何よりも働く年代の人口がどんどん減っている状況です。他の産業がある程度好調で、人材がそちらに取られている状況の中で、介護の方にどれだけ人材が回ってこられるかというのが今後心配です。計画を策定しても、それを実践する施設やサービスが確保できなければ、計画倒れになってしまうと思います。人材を確保するために市がどういうバックアップができるかということ、これはなかなか難しい問題で、そこを市に委ねるのはなかなか困難な状況とも考えられるのですが、計画を今後実際に実現していくために、そのあたりにも注視していく必要があります。

閉会あいさつ